

中国 栽培されている青果物の量は驚異的

FreshPlaza 2023年5月31日

ワールドフレッシュイクスポート社*のリックイー・チョン氏は、1か月にわたる中国視察から戻ったところで、彼とそのチームは数カ所の生産者と梱包施設を訪問し、中国の青果物産業の発展を直接見てきた。同氏は、「中国の農業が盛んであることに驚かされた」と言う。標高2千メートル以上でも、多くの作物が栽培されているのが見られた。レタスからブドウ、柑橘類まで、すべてが平均気温28℃の高地で栽培されている。チョン氏は多くの発展を目撃し、どのようにして作付面積の半分以上がプラスチックまたは温室で覆われているかを説明した。(以下「」は同氏の発言)

量の多さに加えて、チョン氏は彼が見た果実の品質の高さに驚いた。中国人はどのようにしてこれほど短期間に量と質の両方を伸ばすことができたのだろうか。「彼らは、米国、韓国、チリ等から長年の経験を持つ農学者を雇い入れている。」彼らがそのような高品質の農産物を育てることができるもう一つの理由は、生産者が量ではなく質に焦点を合わせていることである。たとえば、米国では、生食用ブドウ生産者は1エーカー(0.4ヘクタール)当たり約1,800箱のブドウを生産している。一方、中国では、1エーカー当たり450~500箱程度である。これにより、彼らは高品質の果実を栽培し、生産者に平均以上の利益をもたらすことができる。

電子商取引 中国における品質改善の結果、輸入需要は減少に転じ始めている。「中国の生産者は農場での栽培慣行について非常に透明性を持つようになり、多くの人が有名人と協力して農場での映像を撮影している。その結果、中国の消費者は国産の果実や野菜を次第に信頼するようになり、青果物の電子商取引市場は巨大になっている。」

同社は、2020年に中国で独自の事業を開始した。それ以来、同社は中国の生産者や梱包業者と協力して、東南アジアの消費者にできる限り最高品質の農産物を提供してきた。「弊社が果実産地である広西チワン族自治区と雲南省の2つの地方政府と協力して進めている新しい取組みの一つは、高品質の輸出果実を開発することである。地方政府と協力して、生産者が生産物からより良い収益を上げることを支援している。」そこでは柑橘類、ブドウ、リンゴを初めとする様々な作物を生産している。

「北朝鮮との国境から約20キロ離れた地域は、間違いなく世界で最高水準のリンゴを栽培している。また、例えば内モンゴルでは独特のベゴニアリンゴが栽培されている。」これら2つの地域の農産物は、タイ、ベトナム、インドネシア、マレーシア、シンガポールに輸出されているが、米国、カナダ、ヨーロッパからの関心も高まっている。

執筆者: マリーケ・ヘムズ

ベトナム ライチとリュウガンの海外市場拡大を目指す

FreshPlaza 2023年6月1日

ベトナムのバックジャン省産業貿易部のトラン・クアン・タン部長によれば、同省の今年のライチ総生産量は18万トン以上で史上最高と予想されている。収穫期間は5月25日から7月30日に予定されている。伝統的な中国市場に加えて、有望な市場として米国、欧州連合、日本、韓国、オーストラリア、マレーシア、アラブ首長国連邦、シンガポール、中東諸国、タイ、香港等がある。一方、ハイズオン省産業貿易部のトラン・バン・ハオ部長によると、同省には現在約9千ヘクタールのライチ農園があり、今年約6万1千トンの収穫が予想されており、そのうち約3万1千トンが早生のライチである。

バックジャン省は生産者のデジタルプラットフォームでの農産物販売を支援

北部バックジャン省の人民委員会議長は、地域の生産者がデジタルプラットフォームで農産物を販売するよう促しており、これによりデジタル農業と農村地域の発展に貢献している。そのため、一村一品(OCOP: One Commune One Product)事業で3つ星以上となったすべての産品が電子商取引プラットフォーム上で入手可能となるよう、郡レベルの人民委員会は関連機関と連携して、農業生産世帯に対してデジタル技術と電子商取引プラットフォームでの取引に関するトレーニングクラスを開催する必要がある。

出典: en.vietnamplus.vn